

2025年12月期 第2四半期 決算説明会資料

2025年8月8日

株式会社ナカニシ

免責事項

資料に記載されている情報には、将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。予めご了承下さい。

歯科事業

Dental Business

補綴歯科治療・歯周病治療・インプラント治療・訪問歯科診療など、広範な歯科治療をカバーする歯科治療機器の開発・製造・販売を行っています。



歯科用ハンドピース



インプラントモーター



超音波スケーラー



歯科用電気モーター

DCI事業

DCI Business

2023年に買収した米国デンタルチェアメーカーDCI社の業績を示すためにセグメントを新設。北米市場向けにデンタルチェアおよびデンタルパーツの開発・製造・販売を行っています。



デンタルチェア



デンタルキャビネット



デンタルチェア用パーツ

外科事業

Surgical Business

脳神経外科・脊椎脊髄外科・整形外科等の医療分野で使用される外科手術用の骨切削ドリルの開発・製造・販売を行っています。



コンソール



サージカルモーター



アタッチメント



ディスポーザブル(バー)

機工事業

Industrial Business

自動車・精密部品等、幅広い製造分野の微細・精密加工で使用されるモータースピンドルの開発・製造・販売を行っています。



コントローラー&スピンドル



コントローラー&スピンドル



電動ハンドグラインダー



超音波カッター

2025年12月期 第2四半期 連結決算概要

執行役員CFO 鈴木 大介

売上高は前年同期並み。円高へのシフトにより売上高が目減りしたものの外科事業の売上高が前年同期比+26%と大幅伸長し、連結売上高を下支え

IDS 2025出展や米国・外科の体制強化など費用先行する上半期となったが計画以上の粗利確保・費用抑制により、EBITDAは前年比減益も計画は過達

為替差損や過年度法人税等により、純利益は前期比大幅減も計画は過達

米国関税の影響はQ3以降に顕在化。米中関税率が未決で先行き不透明感が残るも現時点では上半期の業績過達で関税影響を相殺できる見通し。通期予想を据え置き

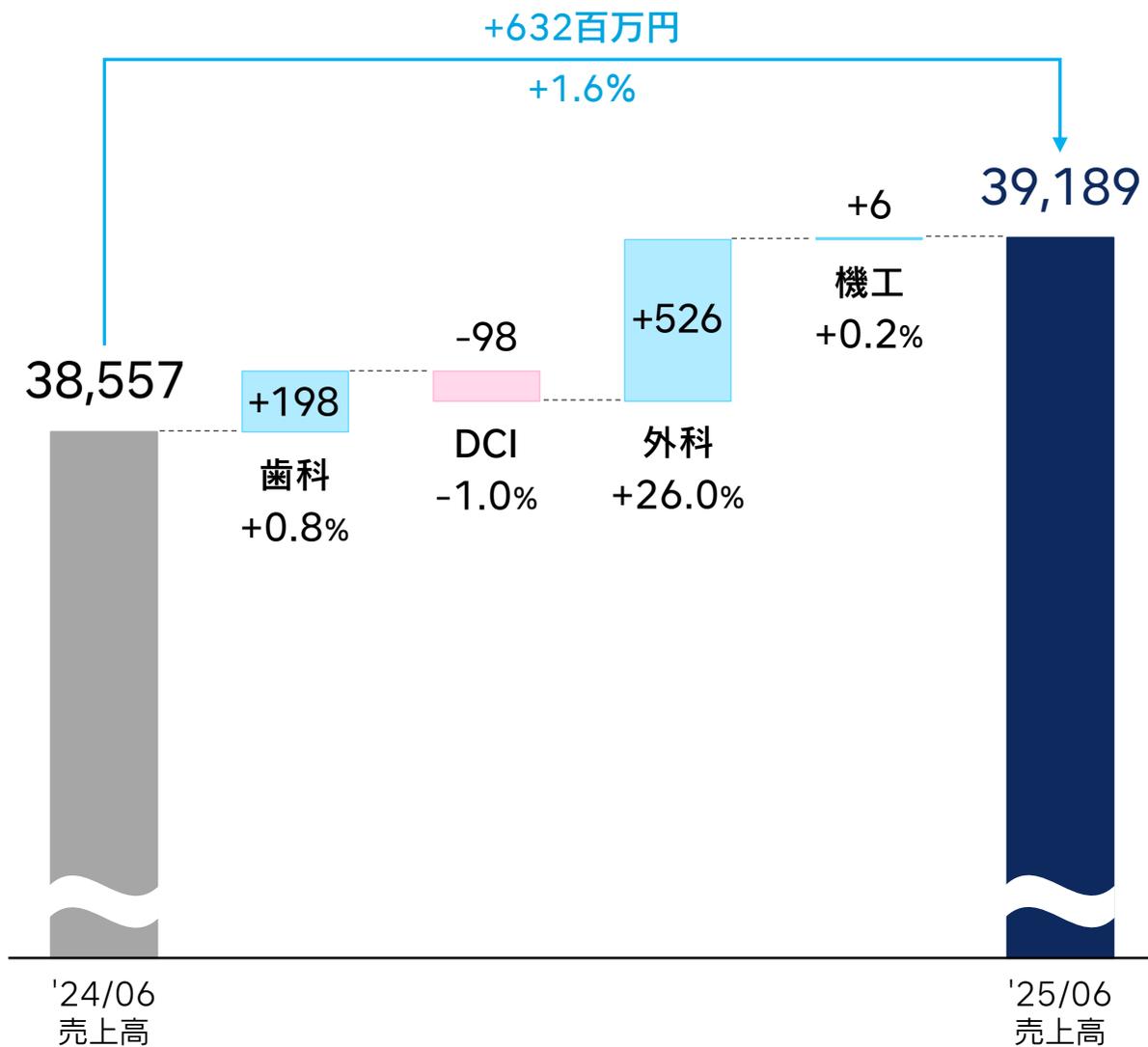
百万円

		当期実績 2025/06	前年同期 2024/06	増減率	業績予想 5/12 修正	増減率
売上高		39,189	38,557	+1.6%	38,616	+1.5%
売上総利益		23,104	22,863	+1.1%	21,452	+7.7%
	利益率	59.0%	59.3%	-	55.6%	-
EBITDA *		10,390	11,051	-6.0%	8,368	+24.2%
	マージン	26.5%	28.7%	-	21.7%	-
営業利益		7,587	8,287	-8.4%	5,478	+38.5%
	利益率	19.4%	21.5%	-	14.2%	-
経常利益		6,930	10,522	-34.1%	5,854	+18.4%
	利益率	17.7%	27.3%	-	15.2%	-
親会社株主に帰属する 中間純利益		3,510	7,026	-50.0%	2,727	+28.7%
	利益率	9.0%	18.2%	-	7.1%	-
E P S	(円)	41.84	82.88	-	32.30	-
為替レート	- 米ドル (円)	149.01	152.31	-3.30	145.00	+4.01
	- ユーロ (円)	162.62	164.83	-2.21	155.00	+7.62

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

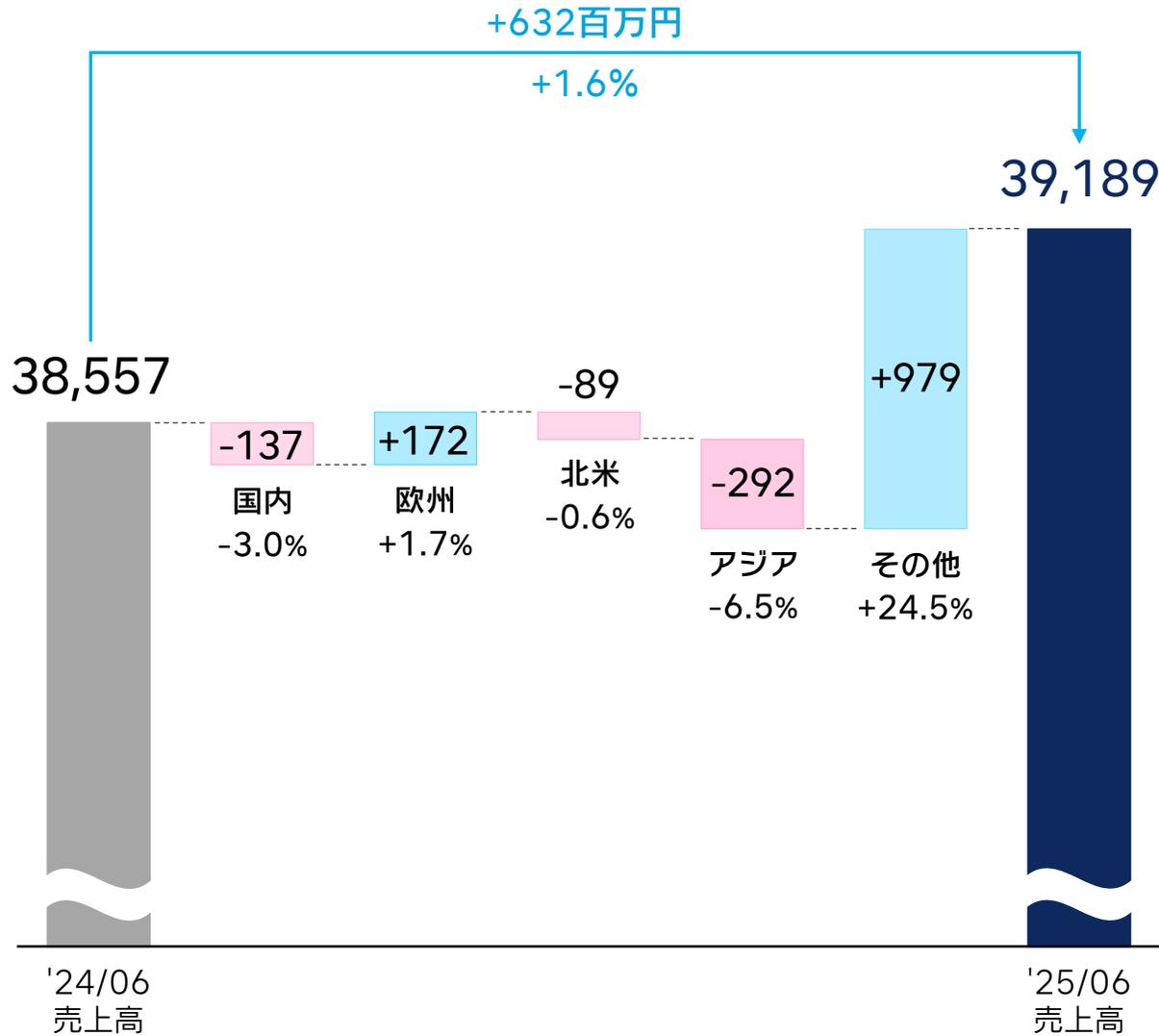
▪ 為替影響額：売上高 -686百万円（前年同期比），+953百万円（予想レート比）

百万円



	前年同期 2024/06 A	当期実績 2025/06 B	うち、為替影響額	増減率 B/A-1
歯科事業	23,335	23,533	-423	+0.8%
DCI事業	9,933	9,834	-215	-1.0%
外科事業	2,022	2,548	-16	+26.0%
機工事業	3,266	3,272	-31	+0.2%
合計	38,557	39,189	-686	+1.6%

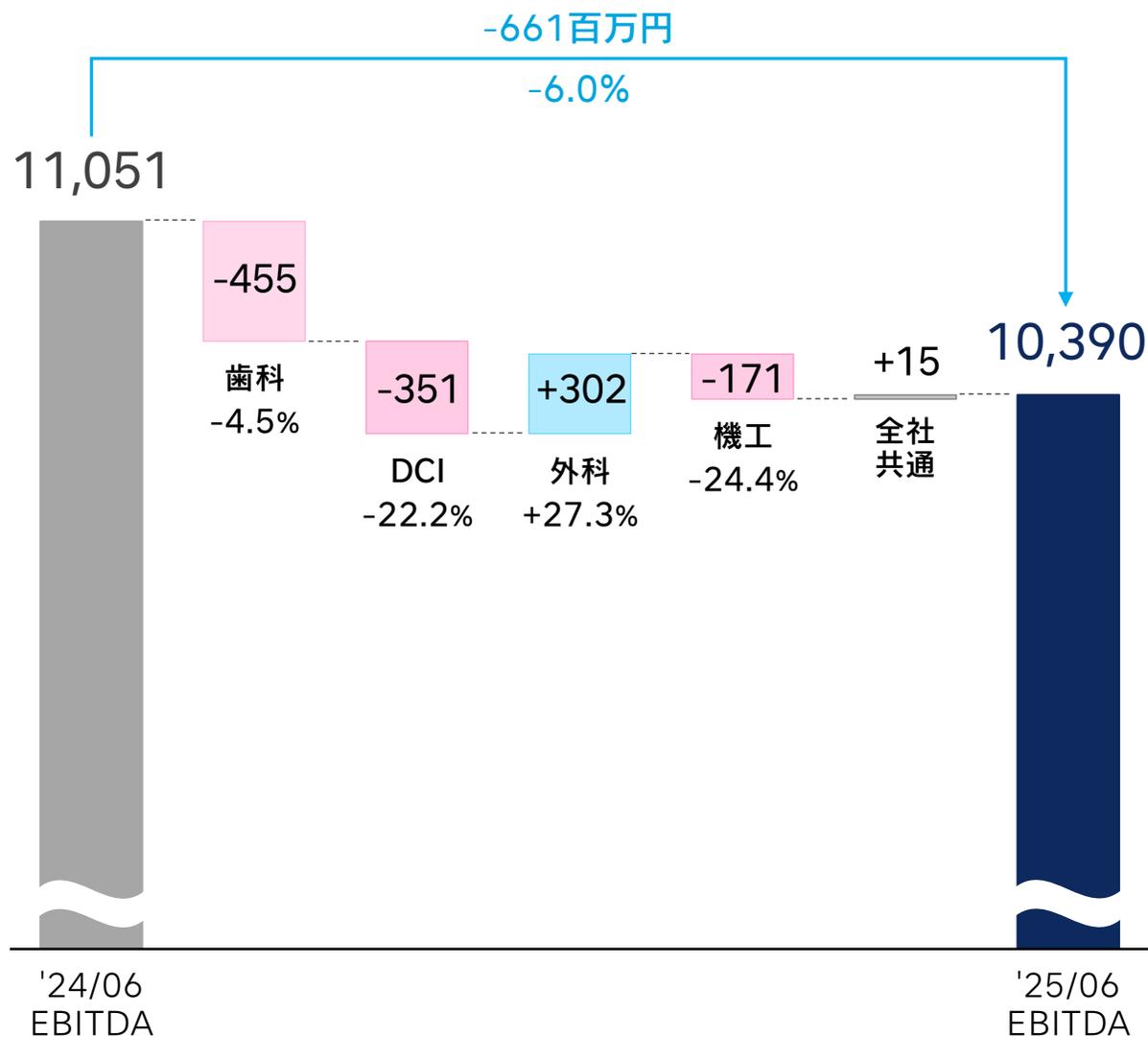
百万円



	前年同期 2024/06 A	当期実績 2025/06 B	うち、為替影響額	増減率 B/A-1
国内	4,648	4,511	-	-3.0%
欧州	10,103	10,276	-97	+1.7%
北米	15,284	15,195	-294	-0.6%
アジア	4,517	4,224	-132	-6.5%
その他	4,002	4,981	-161	+24.5%
合計	38,557	39,189	-686	+1.6%

事業セグメント別 EBITDA の増減

百万円

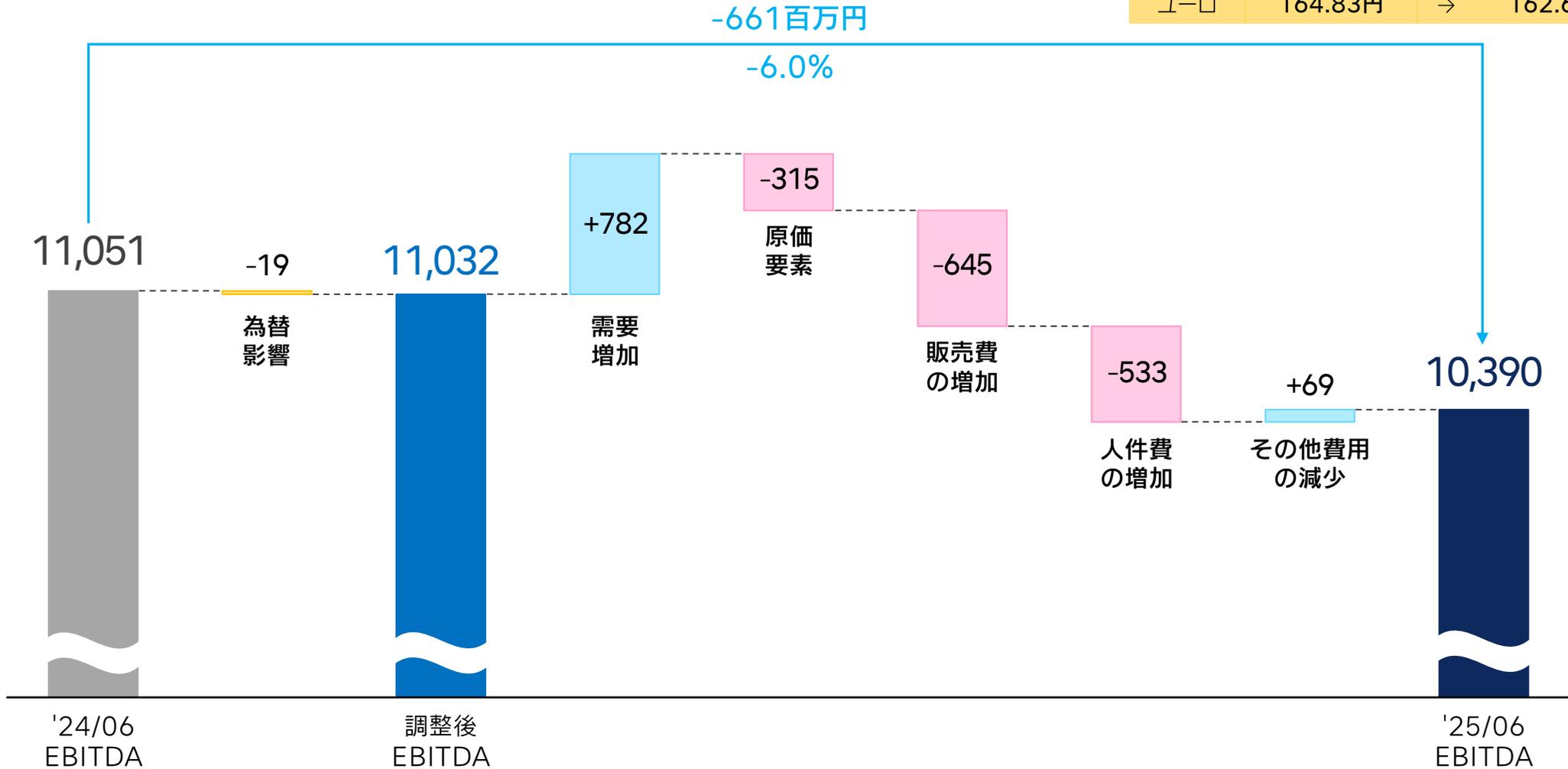


	前年同期 2024/06 A	業績予想 2025/06	当期実績 2025/06 B	増減率 B/A-1
歯科事業	10,237	8,954	9,782	-4.5%
DCI事業	1,585	463	1,233	-22.2%
外科事業	1,106	1,064	1,408	+27.3%
機工事業	703	623	531	-24.4%
全社共通	-2,581	-2,738	-2,565	-
合計	11,051	8,368	10,390	-6.0%

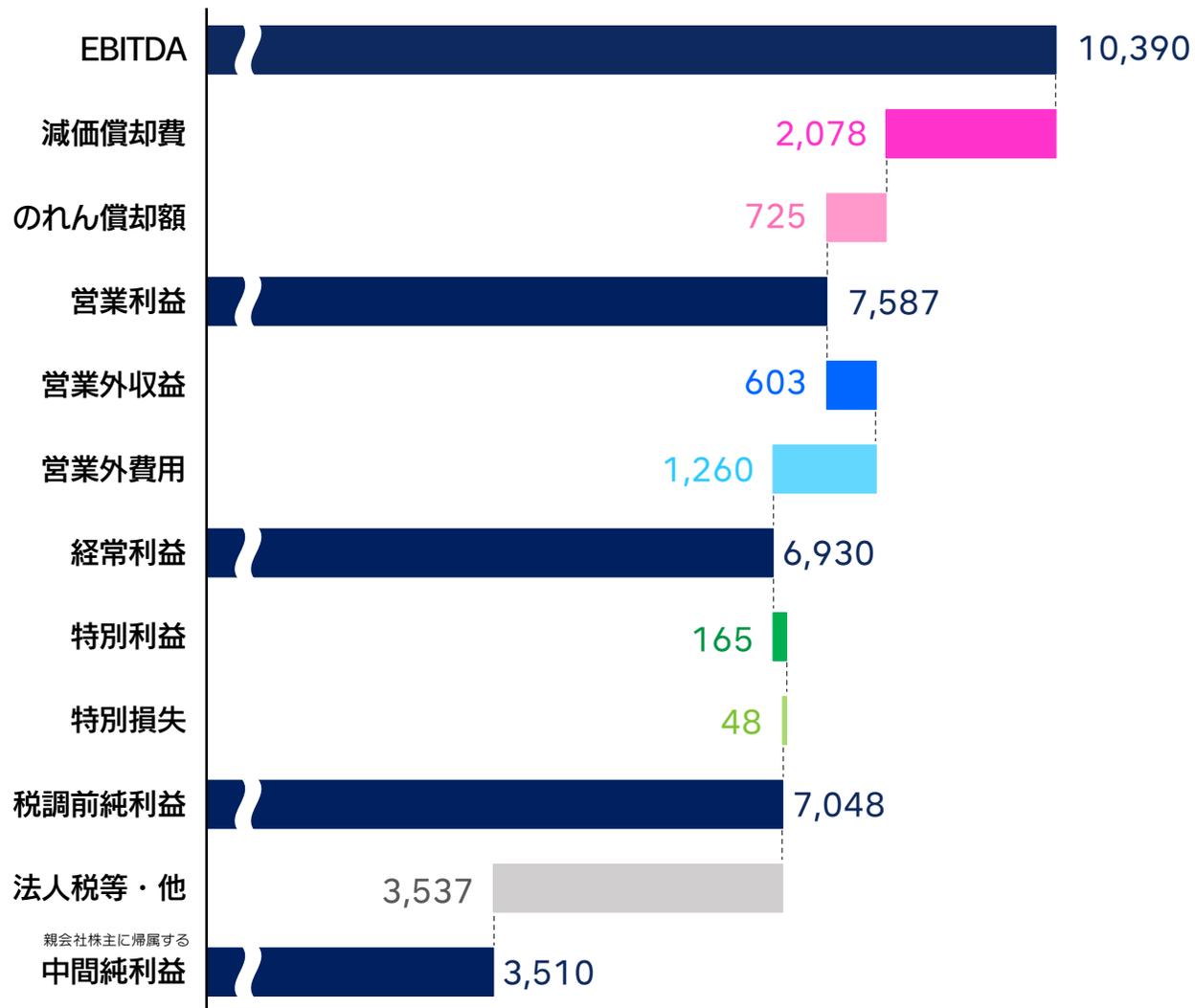
為替影響額 (前年同期比) -19百万円 (-0.2%)

百万円

平均為替レート		
	2024/06 実績	2025/06 実績
米ドル	152.31円	→ 149.01円
ユーロ	164.83円	→ 162.62円



百万円



営業外収益

・受取利息	410
・受取配当金	45

営業外費用

・支払利息	75
・為替差損	1,168

特別利益

・訴訟損失引当金戻入額	164
-------------	-----

特別損失

・固定資産除却損	22
・固定資産解体費用	17

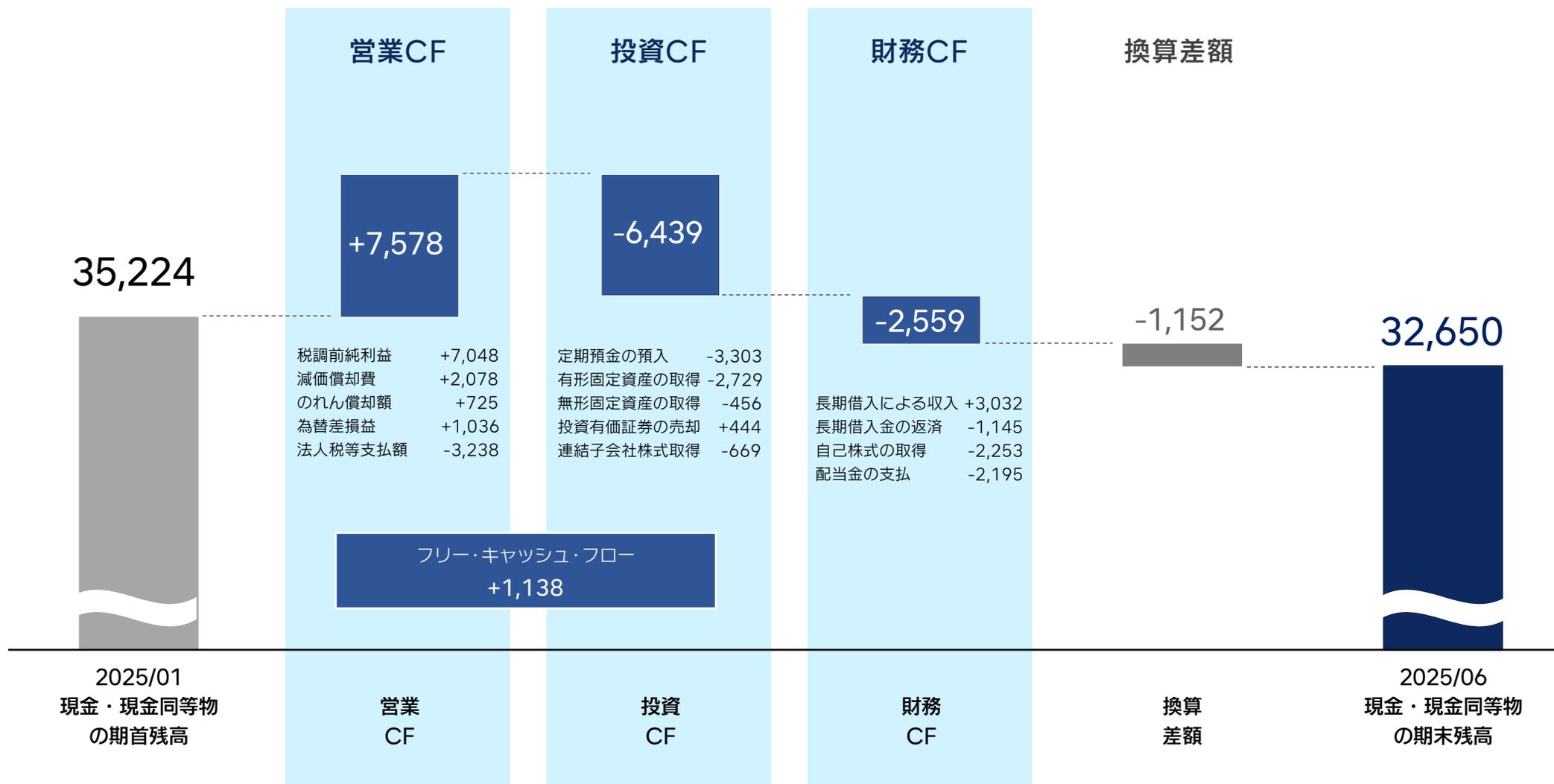
百万円

	当期末 2025/06	前期末 2024/12	増減額	主な増減内容
総資産	153,767	158,299	-4,532	・建物及び構築物 +1,815 ・投資有価証券 -1,111
- 現金及び預金	46,603	46,051	+552	
- 棚卸資産	24,773	25,024	-251	・商品及び製品 -133 ・仕掛品 -36
- のれん	18,906	21,389	-2,483	・原材料及び貯蔵品 -81
負債	36,469	37,100	-630	・買掛金 +117
- 有利子負債	20,573	18,728	+1,844	・短期借入金 -28 ・1年内返済長期借入金 +1,014 ・長期借入金 +858
純資産	117,297	121,199	-3,901	・為替換算調整勘定 -2,799
- 利益剰余金	118,122	116,593	+1,529	
自己資本当期純利益率 (ROE)*	5.9%	7.3%	-1.4pt	
総資産経常利益率 (ROA)*	8.9%	11.6%	-2.7pt	

* 年換算の参考数値

	当期実績 2025/06	前年同期 2024/06	増減額	当期実績の主な内容
設備投資額	3,101	2,458	+642	・M1関連 2,004 ・子会社事務所改装 171
減価償却費	2,078	1,975	+102	

百万円



2025年12月期 連結業績予想

2025年5月12日修正予想から変更なし

2025年2月12日 当初の業績予想の前提

- 売上高は前期比+5%成長。為替影響（円高シフトで年間▲32億円）を控除した実質的な成長率は+9%
歯科・DCI・外科・機工のすべての事業で売上アップを目指す計画
- 売上成長に伴い利益も増加する局面だが、成長ドライバーである米国事業（NSK・DCI）および外科事業の成長投資を時機を逃さず推進すべく販管費を意図的に積み、EBITDAおよび各利益は減益計画とした
- 円安傾向は反転し、緩やかに円高にシフトする想定で為替レートを設定。全般的な収益性の低下に加え2024年12月期に計上していた為替差益の剥落を織り込む。

2025年5月12日 業績予想の修正

- 上記「当初の業績予想の前提」の他、Q1に過年度法人税等を計上したため、当期純利益予想を引き下げ

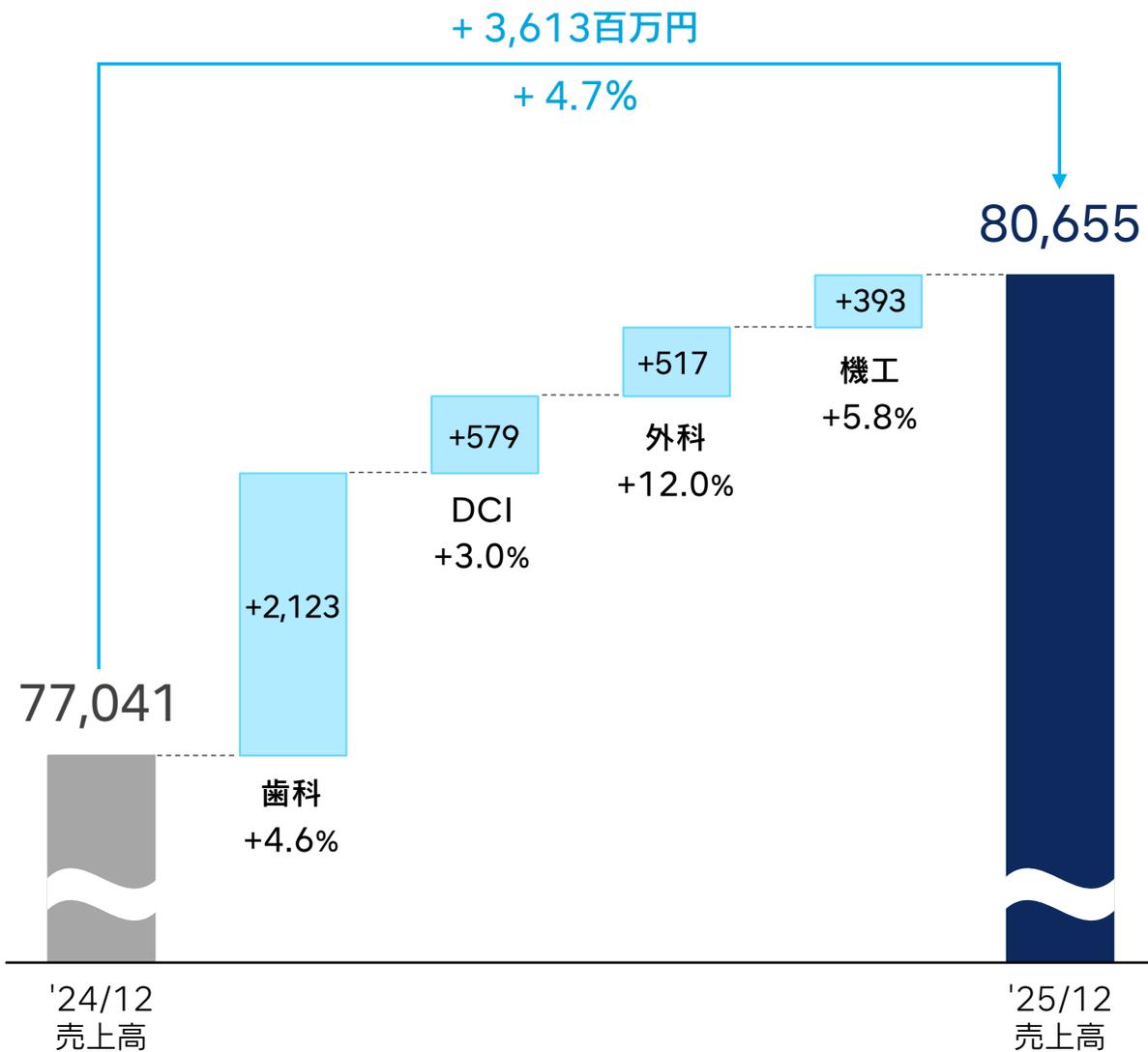
2025年8月8日 関税影響の織り込み

当期の関税影響は約10~15億円と想定。価格転嫁やコスト削減で業績影響を抑制、5/12発表の通期業績予想は据え置き

百万円

		当期予想	前期実績	増減	
		2025/5/12修正	2024/12	増減額	増減率
売上高		80,655	77,041	+3,613	+4.7%
売上総利益		44,784	44,418	+366	+0.8%
	利益率	55.5%	57.7%	-2.1pt	-
EBITDA*		18,932	20,460	-1,527	-7.5%
	マージン	23.5%	26.6%	-3.1pt	-
営業利益		13,150	14,596	-1,445	-9.9%
	利益率	16.3%	18.9%	-2.6pt	-
経常利益		13,840	17,283	-3,442	-19.9%
	利益率	17.2%	22.4%	-5.3pt	-
親会社株主に帰属する 当期純利益		8,372	8,577	-205	-2.4%
	利益率	10.4%	11.1%	-0.8pt	-
EPS	(円)	99.14	101.37	-	-
設備投資額		5,768	5,335	+433	-
減価償却費		4,365	4,208	+157	-
為替レート					
- 米ドル	(円)	145.00	151.44	為替感応度：年間売上高 242百万円	
- ユーロ	(円)	155.00	163.80	為替感応度：年間売上高 98百万円	

百万円

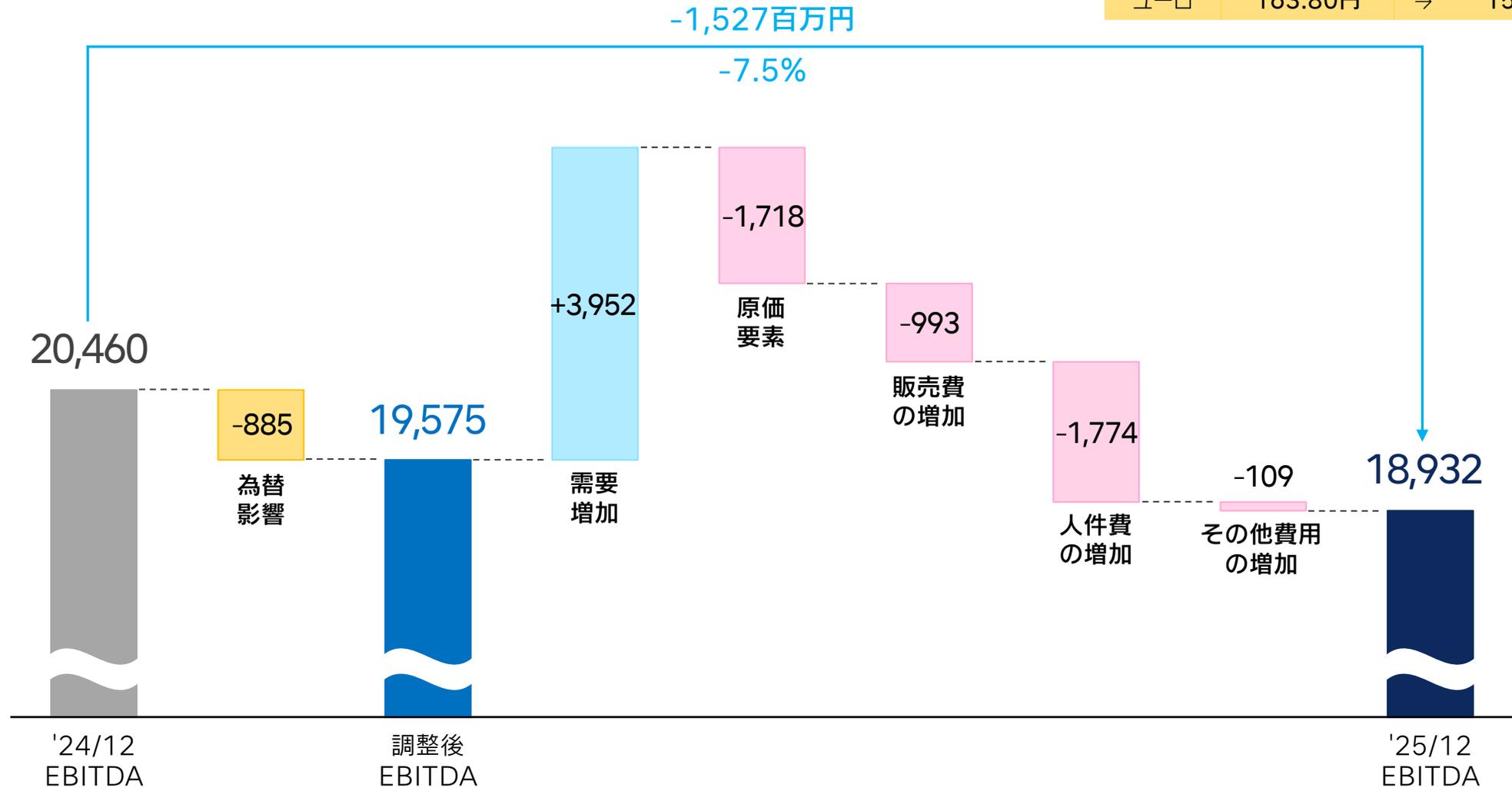


	前期実績 2024/12	当期予想 2025/12	増減
歯科事業	46,527	48,650	+4.6%
DCI事業	19,454	20,034	+3.0%
外科事業	4,321	4,839	+12.0%
機工事業	6,738	7,131	+5.8%
合計	77,041	80,655	+4.7%

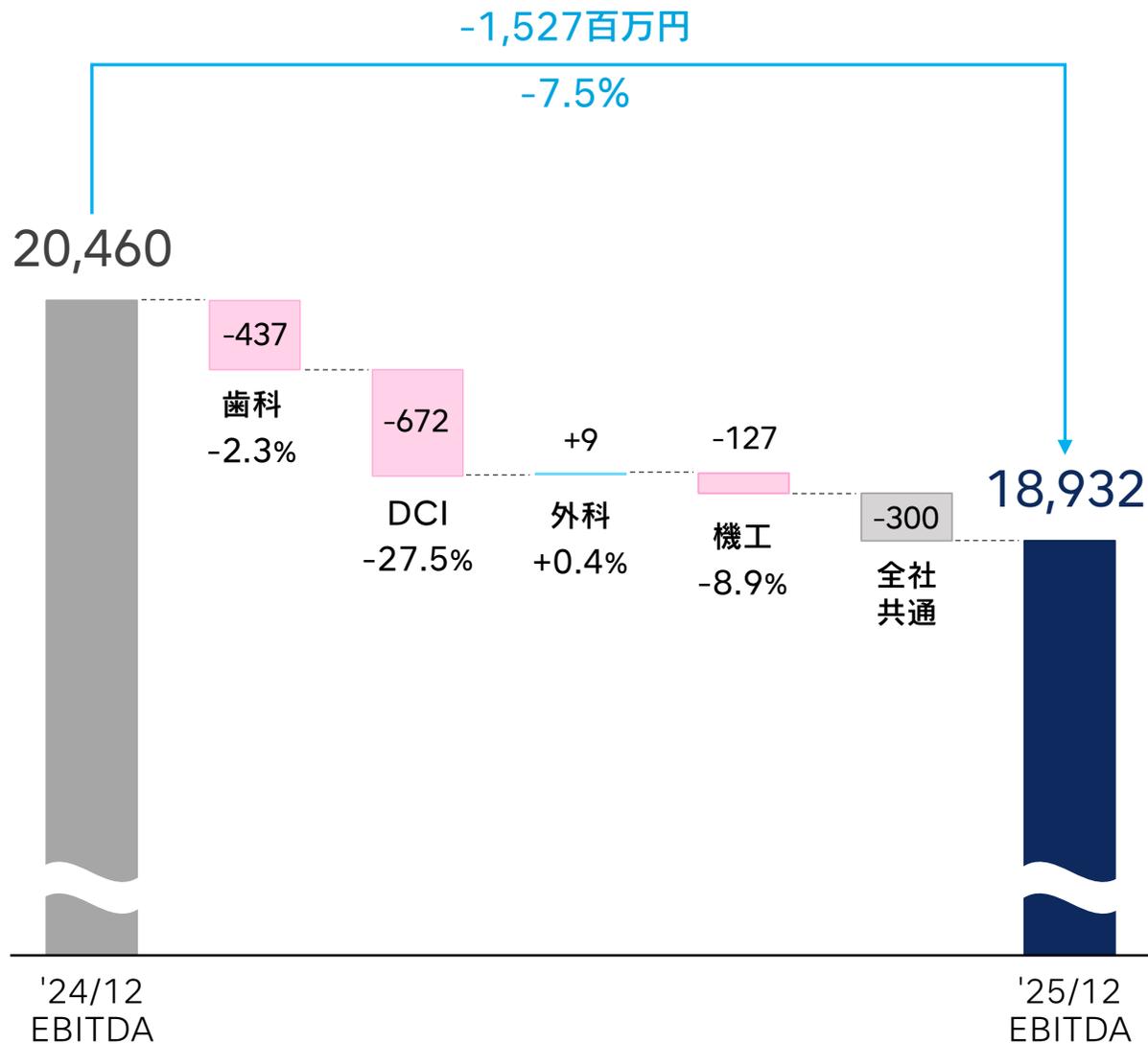
為替影響額 (前年同期比) -3,241百万円 (-4.2%)

百万円

平均為替レート		
	2024/12 実績	2025/12 予想
米ドル	151.44円	→ 145.00円
ユーロ	163.80円	→ 155.00円



百万円



	前期実績 2024/12	当期予想 2025/12	増減
歯科事業	19,337	18,900	-2.3%
DCI事業	2,444	1,772	-27.5%
外科事業	2,379	2,388	+0.4%
機工事業	1,434	1,306	-8.9%
全社共通	-5,135	-5,436	-
合計	20,460	18,932	-7.5%

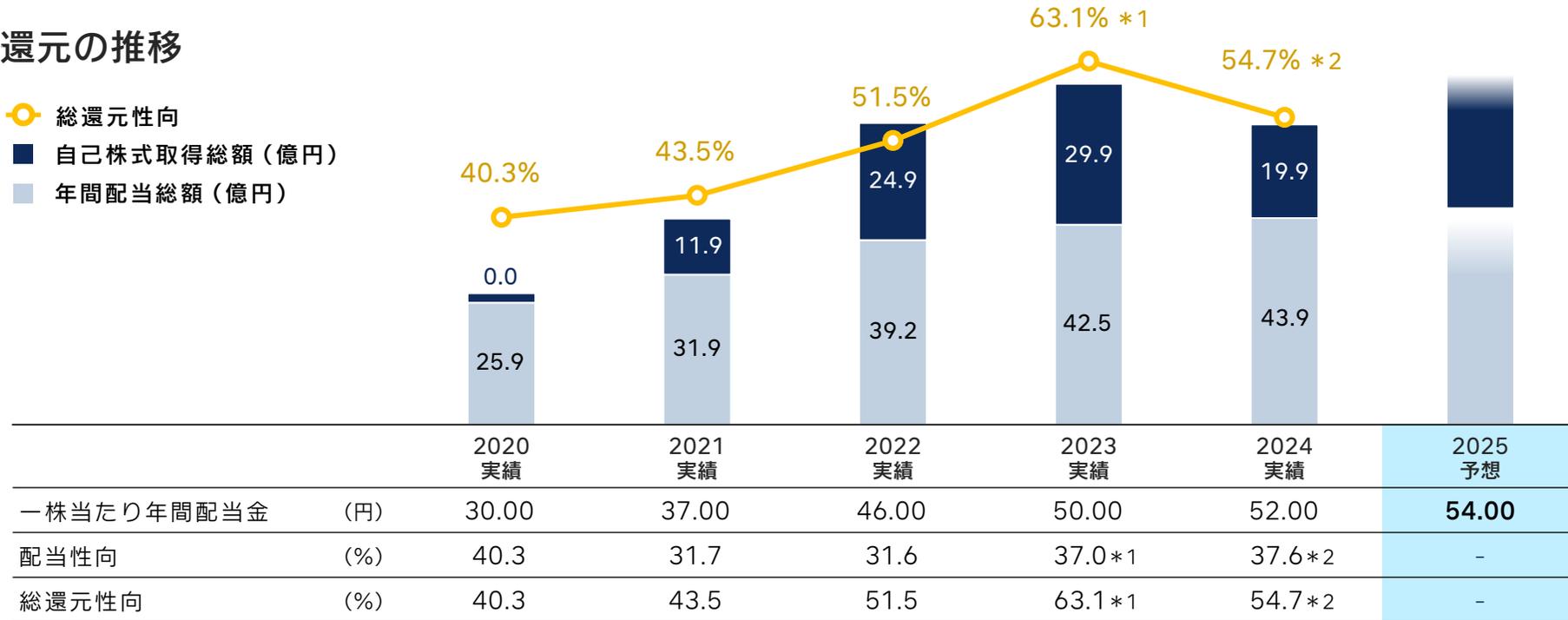
為替影響額 (前年同期比) -885百万円 (-4.3%)

株主還元の方針

株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付け、事業基盤の強化や成長領域への投資を適正かつ積極的に推進しつつ、株主還元をバランスよく実施

将来の成長投資に必要となる内部留保を考慮した上で、**中期的な利益還元の基準を総還元性向50%**に設定。**機動的な自社株買いと安定的かつ継続的な増配**に努める

株主還元の推移



- 総還元性向
- 自己株式取得総額 (億円)
- 年間配当総額 (億円)

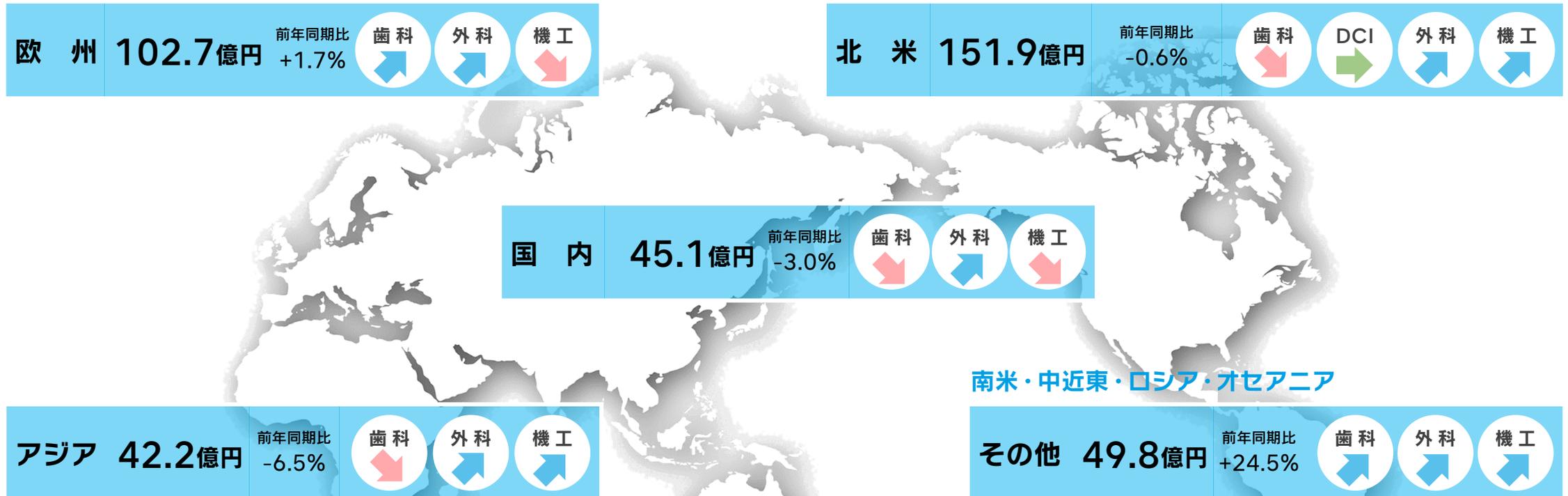
	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績	2024 実績	2025 予想
一株当たり年間配当金 (円)	30.00	37.00	46.00	50.00	52.00	54.00
配当性向 (%)	40.3	31.7	31.6	37.0*1	37.6*2	-
総還元性向 (%)	40.3	43.5	51.5	63.1*1	54.7*2	-

*1 DCI買収に係る特別利益を除外した調整後純利益を基準として算出
 *2 イエガー減損に伴う利益減等を控除した調整後純利益を基準として算出

事業概況と今後の施策

代表取締役社長執行役員 中西 英一

北米・国内・アジアでは伸び悩んだものの、欧州は堅調で南米やロシア等の新興国市場では販売が大きく伸長した



2025年 市場動向予測

- 歯科事業：特需後の反動減から脱し、緩やかに回復する見込み
- DCI事業：需要の弱含みに関税政策が重なり、事業環境は悪化
- 外科事業：底堅い手術件数に応じて、需要も堅調となる見込み
- 機工事業：世界需要は依然として弱いものの底打ちの兆しあり

2025年 基本戦略

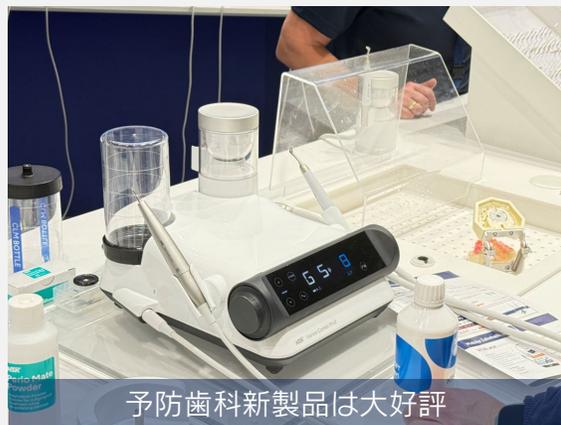
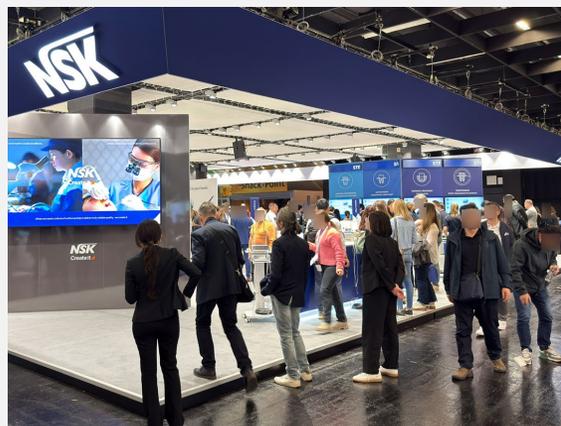
- ▶ 歯科事業：新製品を軸に、世界市場で競争力ある主力商品群を拡販
- ▶ DCI事業：新規取引先を含めたディーラー販売強化、大学への拡販
- ▶ 外科事業：協業ビジネスの拡充を通じて、さらなる事業成長を図る
- ▶ 機工事業：需要回復を見据え、自動化・省人化提案を積極的に展開

IDS 2025

2025/3/25 (火) ~ 29 (土) ドイツ・ケルンメッセ

出展者：61カ国から約2,010社， 来場者：156カ国から約135,000名超

NSK



予防歯科新製品は大好評

DCI



新製品「Series 5+」を参考展示

リファイン



超音波スクーラー等、主力製品を展示

イエガー



新製品「DentaSpin33」を参考展示

Varios Combi Pro2

IDS2025で発表後、ドイツで販売開始
欧州全域・北米・国内でも順次発売予定



▶ 幅広い治療をカバーする予防歯科機器

超音波スケーラーとパウダーデバイスを搭載した予防歯科製品
日本・欧州で大好評の「Varios Combi Pro」を大幅刷新

▶ ヒーター機能を大幅に強化

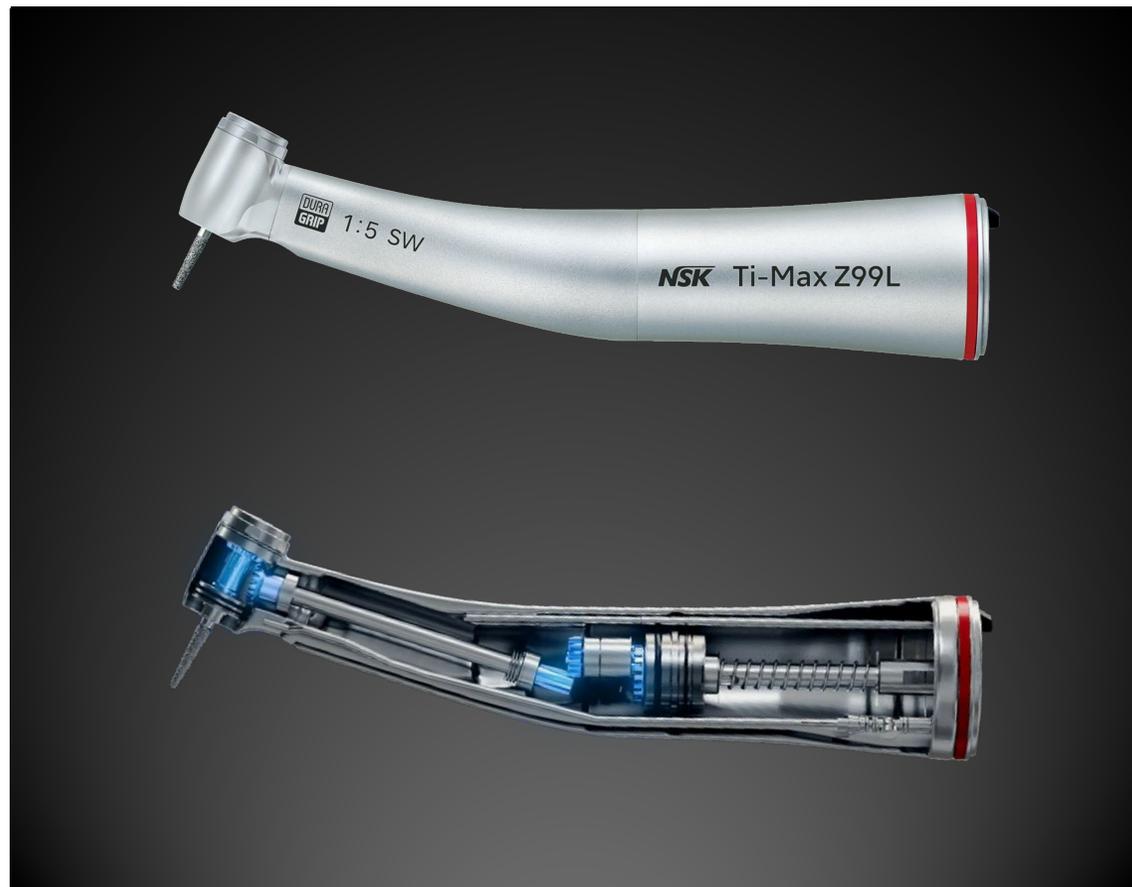
新開発のヒーター機構を搭載。体温に近い温水供給で治療中の患者負担を軽減

▶ デザイン性と操作性を高次元で両立

刷新したデザインは操作性向上にも寄与。液晶ディスプレイが直感的な操作とシームレスな治療環境を提供

Ti-Max Z99L

電気モーター用ハンドピースの新製品
欧州・北米で販売開始。国内発売は年内を予定



▶ 100度アングルが治療効率を向上

100度アングルヘッドの採用により臼歯へのアクセス性が大きく改善、治療効率の向上に寄与

▶ 発熱防止・耐久性を追求した内部機構

内部機構を大幅刷新。ギアとベアリングの構造・配置を最適化したことで、発熱リスク低減と耐久性向上に寄与



2025年4月12日～13日

近畿デンタルショー

国内

上半期の概況

販売実績

(前年同期比)
(現地通貨)



- 国内市場でさらなる成長を狙うべく流通網の改革に着手。これに伴い一時的な販売減が発生
- OEMビジネスは増収で計画達成

下半期の施策

販売計画

(前年同期比)
(現地通貨)



- 流通網改革の成功に向けた販売店アプローチ強化と、ハンドピースや訪問歯科製品等の拡販に注力



2025年3月25日～29日

IDS 2025 (ドイツ)

欧州

上半期の概況

販売実績

(前年同期比)
(現地通貨)



- 需要横ばいが続く中、競争力ある自社製品が顧客に選ばれ販売増
- IDS2025で初披露した予防歯科新製品が大好評で、販売増に寄与

下半期の施策

販売計画

(前年同期比)
(現地通貨)



- 主力製品であるハンドピースやインプラントモーターを拡販
- 新製品の販売地域を欧州域内で順次拡大



2025年2月20日～22日 Midwinter Meeting (シカゴ)

北米

上半期の概況

販売実績
(前年同期比)
(現地通貨)



- 流通在庫の調整局面が続き、自社ブランドは軟調。Q2に販売回復
- DCI社によるNSK製品のバンドル販売は前年を上回る水準で推移
- OEM販売は前年同期比で横ばい

下半期の施策

販売計画
(前年同期比)
(現地通貨)



- 主力であるハンドピース・歯科用電気モーターの拡販を継続
- DCIとのバンドル販売に注力
- OEM製品の販売維持・拡大



2025年3月3日～6日 Dental South China (広州)

アジア

上半期の概況

販売実績
(前年同期比)
(現地通貨)



- 中国：入札案件は戻りつつあるがプライベート市場の販売苦戦
- 韓国：景況感は底這いで自社製品OEMいずれも軟調
- アジア：需要停滞が続き販売減少

下半期の施策

販売計画
(前年同期比)
(現地通貨)



- 回復傾向にある入札案件を着実に獲得するべく営業注力
- 韓国やアジアでは需要の弱含みが続く想定だが、引き続きNSKリファインの拡販に注力



上半期の概況

販売実績
(前年同期比)
(現地通貨)



下半期の施策

販売計画
(前年同期比)
(現地通貨)



中近東

- 紛争拡大に伴い案件減少。前期に比べ減収となるも、計画達成

- 当面は需要の先行きが不透明だが政府系入札の着実な獲得を目指す

南米

- ブラジル市場が好調で特にインプラントモーター販売が大幅伸長

- 需要の高いインプラントモーターやハンドピースを拡販

ロシア

- 流通在庫の正常化により販売回復

- 先行きは不透明ながら引き合いが多いインプラントモーターを拡販

豪州

- 市況感は芳しくない中、積極的な営業活動で前年並みの売上確保

- 主力であるハンドピースとともに予防歯科製品の拡販にも注力

上半期時点では事業戦略の遂行・業績いずれも計画通りに推移

事業トピックス



北米代理店網を拡大

新たに取引開始したディーラーの営業担当者約120名をDCI本社に招き、製品トレーニングを実施。

既にDCI製品の販売に着手済みで、足元では計画以上の注文が入る等、ビジネスの立ち上がりは順調。



新製品「Series5+」を発売

新製品「Series 5+」を6月に発売。

NSK電気モーターを内蔵した事で2つのモーター制御が可能となり、歯科医師に高い付加価値を提供。

市場動向・業績推移

米国デンタルチェア市場全体の動向

2025年1月～6月の米国市場全体のデンタルチェア販売台数は前年同期比 -3%と需要弱含みが続いた

DCIの販売台数の動向

DCIの上半期のデンタルチェア販売台数は前年同期比 -4%となったDSO最大手が軟調も、その他DSOやプライベート医院向けが下支え

DCI単体の業績動向（現地通貨ベース）

売上高・粗利は前年同期比を上回ったが、計画に基づいて販売費を拠出したことで営業減益。期初計画比では売上・粗利・営業利益すべて達成



2025年3月12日～14日 外科手術トレーニング(米国)



外科手術用ドリルアタッチメント新製品 P200-1A155-U

上半期の概況

販売実績
(前年同期比)
(現地通貨)



下半期の施策

販売計画
(前年同期比)
(現地通貨)



国内

- 競合撤退に伴う案件獲得が進みコンソール販売台数が過去最高
ディスプレイ販売も好調で二桁増収

- 昨年発売した新製品によって脊椎内視鏡手術分野における競争力が向上。引き続き拡販

欧州

- 市況は停滞するも営業強化が奏功して欧州各国で受注が積み上がり二桁増収

- 欧州現地法人に配置した営業担当による精力的な営業活動を継続しさらなる受注獲得を狙う

北米

- 高い製品力を背景に競合撤退のビジネスチャンスを順調に獲得協業ビジネスも順調で大幅増収

- 手術支援ロボットメーカーと協業拡大、競合撤退の商機の最大限の取り込みに引き続き注力

アジア

- 主力の中国市場では特にディスプレイ販売が好調となり二桁増収。東南アジア諸国への販売も堅調に推移

- 主力市場の中国をフォローしつつ韓国やインドをはじめアジアや中近東へのアプローチ強化を図る



上半期の概況

販売実績
(前年同期比)
(現地通貨)



下半期の施策

販売計画
(前年同期比)
(現地通貨)



国内

- 需要底打ちの兆しが見えるものの本格的な販売回復には至らず減収

- 需要回復期を迎えており引き続き省力化・省人化の提案活動に注力

欧州

- ナカニシ製品は増収に転じたが再建途中のイエガーは販売減

- 引き合い案件の着実な取り込みとイエガー再建計画の遂行

北米

- ナカニシ製品販売は前期並みイエガー販売が回復して増収

- イエガー製品によって製品ラインアップ拡充。需要掘り起こし図る

アジア

- 中国市場の需要回復が進む中で大型案件獲得もあり、大幅増収

- 需要回復に伴う商機を逃さぬよう営業に注力、受注積み上げを狙う



「サステナビリティレポート 2025」を発刊しました
ESGに関する取り組みをアップデートしております
ご高覧いただけましたら幸いです

<https://www.nakanishi-inc.jp/sustainability/report/>



NSK